

# 04 Lifestyle

男たちよ  
目覚めなさい

イラスト/ユリコフ・カワヒロ

## 高価なだけの贈りものはキモいことに目覚めなさい

### と

あるビジネス情報番組で、アメリカ、カナダ、イギリスでいま急速に成長しているジュエリーブランド「Mejuri(メジューリ)」を紹介していました。

ファインジュエリー(貴金属や本物の宝石)を扱うのですが、価格が高ブランドの10分の1程度。広告費を圧縮することで利益を生んでいます。ちなみにハイブランドのジュエリーの原価率は一般的に15%といわれています。経済的にも精神的にも自立した女性が自分のために購入するという需要に応え、店舗数も一年間で11店から22店へと飛躍的に伸びたとのことですが、解説者の予言で衝撃だったのはこのひと言。「男性が高価なものを女性に贈るといふ文化は消滅する。そうした行為はすでにキモいと思われる」

もちろん高価なものを贈られて喜ぶ女性は常に一定数、存在しますが、いまどきの自立した「アート割り勘当然」世代においては、高価な贈りものをキモいと感じる確実性も確実に広がっているということ、頭の片隅に置いておいたほうがよさそうです。

では自立に価値を置く女性は何を喜

カトリーヌ10世  
Catherine X

PROFILE

グローバル化が進む  
社交界事情にも  
通じる。  
密かな趣味は  
人間観察と  
コスプレ。  
好きな飲み物は  
モンラッシュ。  
日本ではほとんど  
知られていない。  
ある小国の女王  
とのウワサも?



ぶのでしょうか? 前例を探してみると、例えば、「投資」がありました。シャネルがもつとも愛した男、アーサー・カベルは、経済的な自立を目指していたシャネルが帽子店を開くにあたって「投資」という名目でお金を出します。とはいえ、愛する男からの借りを作ることを嫌ったシャネルは、その後、成功してカベルに全額返済しています。そうして自立を果たしたシャネルでしたが、カベルが結婚相手に選んだのは、自分と対極のタイプの女性であった……というのは何とも皮肉なことでした。頼りたい男と頼りたくない女のすれ違い。

ふたりの関係性にもよりますが、自立を重視する女性にお金を使うというのは、かくもデリケートな一面があるということに「目覚めなさい」。心理的な負担や抵抗を感じさせないギフトが最高ではありますが、それって何? お相手の喜びのツボを探るべく、日頃のコミュニケーションはぜひ全集中で、そんなプロセスを重ねていくことで、あなたの存在そのものがプライスレスなギフトとなるでしょう。そうなることをお祈りいたします。